

2016年9月近況報告

南スーダンの現況アップデート

目次

1. 背景となる最近のできごと.....	1
2. 政治的状況.....	2
3. 経済的状況.....	2
4. 社会サービス.....	3
5. 日本の軍隊.....	3
6. 国連安全保障理事会.....	4
7. 今後に向けて.....	4
8. 結語.....	4

1. 背景となる最近のできごと

Dr. Riack Machar Teny¹がジュバに戻り、2016年4月29日に南スーダン暫定国民統一政（The Transitional Government of National Unity of South Sudan、TGNUSS）が成立しました。これは2015年8月に締結された、衝突に関する平和合意に基づくものです。この合意文書はSalva Kiir 大統領とDr. Riack Machar Tenyとの間に結ばれたものです。Dr. Riack Machar は以前は2013年に成立したスーダン人民解放軍反対勢力（Sudan People Liberation Movement in Opposition、SPLM/A IO）のリーダーでしたが、最近はスーダン内部を放浪していました。

その後、Dr. Riack Machar Tenyのグループは2016年7月に大統領府（J1パレス）への襲撃に失敗しました。2つのグループ²の衝突は、7月8日の1日の大統領府での戦闘で300人以上の死者を生む結果になりました。戦闘は4日近く続き、結果的にDr. Riack Machar は南スーダンの首都ジュバを脱出し、奥地へと逃げ込みました。Dr. Riack Machar は南スーダン奥地の森林でSalva Kiir 大統領派の軍と長い戦闘を行い、最終的には2ヵ月後に医学的治療を受けるためにハルツームに姿を現しました。

¹ 以前の副大統領。

² Salva Kiir 大統領のグループとDr. Riack Machar Tenyのグループ（SPLM/A IOを中心とするグループ）

2. 政治的状況

主席副大統領である Dr. Riak Machar は国から逃げ出してしまいました。SPLM/A IO は再びジュバに集結し、Taban Deng Gai 将軍を Dr. Riak Machar Teny の代わりに主席副大統領として承認しました。Taban Deng Gai 将軍は今、SPLM/A IO の代表となり、2つの軍³が2017年5月に統一されるまでは人民解放軍全体の指揮者とされています。これは、政府の幹部から我々が入手したレポートから得られた情報です。

Taban Deng Gai 将軍は Salva Kir 大統領の代理として、第71回国連総会に出席しています。Taban Deng Gai 将軍は2016年9月23日に TGNUSS を代表して国連総会でスピーチを行い、国連に対し、アフリカの多くの国々で起こっている、あるいは将来起こる内戦を止めるため、平和と和解にコミットすることを求めました。

南スーダンがスーダンから2011年に独立する前から、そしてその後も、長年にわたって被害を受けてきたことに注目すべきです。Taban Deng 将軍が2016年7月に、Salva Kiir 大統領から主席副大統領に任命された際、首都ジュバの安全は保たれており、人民解放軍の政府側と反対勢力の間での戦闘はありませんでした。戦闘があるのはジュバの外の他の地域で、安全保障が手薄な地域では、高速道路上の通行人に対する強盗の襲撃なども生じています。しかし、現在、政府は南スーダンの安全が平常に戻るよう、非常な努力をしています。

3. 経済的状況

2013年に Salva Kiir 大統領と Dr. Riak Machar Teny の間で紛争が起きて以降、国内の経済的状況は良くありません。物価は非常に高く、多くのお金を持っていなければ買い物ができません。砂糖は1袋3,000南スーダン・ポンド、ドゥラ50kgで5,000南スーダン・ポンド、その他食べ物、衣類、建築資材、日常生活用品等も高価です。これは2013年に始まり現在まで続いている内戦のためです。インフレ率は非常に高いです。米国ドルとの交換比率は、銀行だと南スーダン・ポンド5.6ドルあたり1米国ドルですが、ブラック・マーケットでは1米国ドルが8,500南スーダン・ポンドと交換されています。この交換比率が市場での物価が下がるのを妨げています。政府の公務員への平均給与の上限は600南スーダン・ポンドから4000南スーダン・ポンドです。政府は、給料を300南スーダン・ポンド程度から600南スーダン・ポンド程度に徐々に上げたいと考えていますが、経済状況は悪く、閉店するお店もあります。

この経済的危機により、親は子供の学費をねん出することができず、学校に行かせることが難しくなっています。

³ 人民解放軍 (SPLM) の政府側と反対勢力 (IO)

4. 社会サービス

公務員が定期的に給料を受け取っていないため、社会サービスの状況はよくありません。給料を受け取るのに2-3カ月かかり、状況がいい場合は複数月分一遍に受け取ることもあります。

教育

公的なもの、私的なものに関わらず教育は行われていません。これは公務員に給料がないこととともに、親にも理由があります。親が学校の費用を払えないのです。識字率は83%で非常に高く、字が読める人の大部分は田舎にいます。

現在は、紛争状況のために、都市での生活が難しく（食料も住居も医薬品もありません）、多くの人々が都市から逃げています。200万人近くが国内の森林や国連の施設に避難しています。隣接国に食料や住居、安全を求めて逃げている人もいます。

保健

保健サービスについてはさらにひどい状況です。戦争中で常に悪い状況が続いています。現在、南スーダンにおいては正規の保健サービスが提供されておらず、施設の整った病院や医薬品がない状態です。私立の診療所が少数ありますが、本来診療所にあるべき備品が不足している状態です。全てのものが高価で、たとえば医師の診察を受けるのには250南スーダン・ポンドを支払わなければならない、これは普通の人には簡単には払えない金額です。また、医師の診察を受けた後には高価な医薬品を買わないといけません。

衛生

衛生の状況も悪いです。きれいな飲み水はなく、多くの病気が生じています、例えばマラリア、腸チフスは非常によく見られます。これは整った医療サービスがなく、よい病院もないため、多くの患者が診療のために外国に行ってしまいます。

5. 日本の軍隊

350人の日本軍がいて、表面上、道路などの南スーダンの開発において重要なプロジェクトに土木の面で携わっています。日本人は外交面、特に平和維持活動（PKO）において、南スーダンの味方です。PKOは国際連合南スーダン派遣団（United Nations Mission in South Sudan、UNMSS）の一部です。彼らの役割は南スーダンの市民の中に平和を構築することと、ジュバの中に道路を作ることです。

日本人、中国人の兵士は南スーダンの中でよい働きをしています。今後、国連軍のアメリカ軍兵士 4,000 人が南スーダンに来るようです。これは、現在は暫定政府を作るに至った Salva Kiir Mayardit 大統領と前主席副大統領 Dr. Riak Machar Teny が 2015 年 8 月 17 日から 27 日の間に結んだ平和合意を実行するためです。現在の状況は落ち着いており、経済のコントロールが非常に難しい状況です。

6. 国連安全保障理事会

先月の 2016 年 9 月 2 日、国連安全保障理事会が南スーダンを訪れ、安全、経済、政治、社会の状況を視察しました。彼らは、Salva Kiir 大統領と、平和合意をどうやって実行に移していくかについて議論を行いました。Kiir 大統領は、国民を守るために、400 人の米軍が南スーダンに来て UNMSS に加わることを歓迎しました。国内の安全、政治、経済の向上を監督するため、安全保障理事会は、UNMSS の南スーダン内のジュバ及び他の都市での活動を強化することにしました。

7. 今後に向けて

1. 我々は平和が来ることを希望しています。神は、我々が神に平和と協調を持ってきてもらえるよう祈ることを望んでおられます。
2. PKO が来たとき（訳注：米軍の新しい 4000 人のことと思われる）には、国内に平和が訪れるのではないのでしょうか。
3. 政府と反対勢力は現在の国内の経済的状況、そして教育、保健、安全などの社会サービスの状況を改善させるために、一層の努力をしなければなりません。
4. ロシナンテスは国内避難民を助けるために、ジュバに事務所を開くことが薦められます。事務所は社会サービスを提供し、人道に基づいて教育を提供し、医療ケアを提供するヘルス・センターを開設するのです。

8. 結語

ジュバの在南スーダン日本大使館は、ロシナンテスが直面している問題に対処すべきです。南スーダンにおける日本人の役割は大きく、南スーダンの国民全てに感謝されています。

Raga Gabriel